



2019年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 沢井製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <https://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長 (氏名) 桜井 良樹 TEL 06-6105-5711

定時株主総会開催予定日 2019年6月25日 配当支払開始予定日 2019年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	184,341	9.7	37,738	21.3	25,798	16.2	25,666	26.7	19,727	39.8	19,376	38.2
2018年3月期	168,068	26.9	31,118	32.1	22,209	△3.2	20,251	△11.0	14,111	△21.5	14,017	△22.0

(注) 当期包括利益合計額 2019年3月期 24,601百万円 (138.1%) 2018年3月期 10,331百万円 (△44.4%)

コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因等による損益を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	442.62	442.32	10.2	7.0	14.0
2018年3月期	360.49	360.26	8.7	6.9	13.2

(参考)持分法による投資損益 2019年3月期 ー百万円 2018年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	372,889	223,204	199,250	53.4	4,551.50
2018年3月期	358,453	202,441	181,350	50.6	4,143.15

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	42,923	△16,820	△9,513	57,067
2018年3月期	28,472	△127,900	108,597	39,992

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者帰属 持分配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	65.00	—	65.00	130.00	5,242	36.1	3.3
2019年3月期	—	65.00	—	70.00	135.00	5,910	30.5	3.1
2020年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00		29.6	

(注) 当社の2019年3月期の期末配当金は、1株当たり普通配当金65円に創業90周年記念配当金として5円を加えた70円といたしました。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
第2四半期(累計)	90,100	1.5	15,900	△10.6	12,800	△7.0	12,800	△6.5	9,600	△8.7	219.29
通期	184,400	0.0	32,000	△15.2	25,800	0.0	25,700	0.1	19,200	△0.9	438.59

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2019年3月期	44,076,388 株	2018年3月期	44,070,588 株
2019年3月期	299,604 株	2018年3月期	299,572 株
2019年3月期	43,775,123 株	2018年3月期	38,882,757 株

※決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

当社は、2019年5月16日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結純損益計算書及び連結包括利益計算書	5
(連結純損益計算書)	5
(連結包括利益計算書)	6
(2) 連結財政状態計算書	7
(3) 連結持分変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(作成の基礎)	11
(重要な会計方針)	11
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループでは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を向上させることを目的として、前連結会計年度より国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。同基準に基づいた当連結会計年度の業績につきましては、売上収益184,341百万円（前期比9.7%増）、営業利益25,798百万円（前期比16.2%増）、税引前当期利益25,666百万円（前期比26.7%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益19,376百万円（前期比38.2%増）となりました。なお、当社は、IFRSの適用に当たり、会社の経常的な収益性を示す利益指標として、「コア営業利益」を導入し、経営成績を判断する際の重要指標と位置づけることとしております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益を除外しております。同基準に基づいた当連結会計年度の「コア営業利益」は、37,738百万円（前期比21.3%増）となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2018年3月期)	当連結会計年度 (2019年3月期)	増減	増減率
売上収益	168,068	184,341	16,273	9.7
コア営業利益	31,118	37,738	6,620	21.3
営業利益	22,209	25,798	3,588	16.2
税引前当期利益	20,251	25,666	5,415	26.7
親会社の所有者に帰属する当期利益	14,017	19,376	5,359	38.2

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 日本

日本におけるジェネリック医薬品業界におきましては、2017年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017～人材への投資を通じた生産性向上～」(骨太方針)により、ジェネリック医薬品使用割合80%の目標の達成時期を2020年9月までとされました。これを受け、2018年4月には、保険薬局における「後発医薬品調剤体制加算」、医療機関における「後発医薬品使用体制加算」の要件見直しに加え、院内処方を行う診療所における「外来後発医薬品使用体制加算」の要件見直し、一般名処方の一層の推進等のジェネリック使用促進策を含む診療報酬改定が実施され、薬局市場を中心にジェネリック医薬品の需要が伸長しており、2018年9月に行われた薬価調査によるとジェネリック医薬品の使用割合は72.6%まで高まってきております。一方で、2017年12月に中医協で了承された「薬価制度の抜本改革について骨子」を踏まえ実施された2018年4月の薬価基準の改定では、薬剤費ベースの改定率は7.48%の引き下げとなりましたが、その内容は市場での実勢価格に基づく改定を基本としつつも、これまで以上に政策的な引き下げとなっております。また、2019年10月には消費税率の引き上げに伴う薬価改定が予定され、さらに2020年4月には2年に1回の通常の薬価改定が予定されており、当社を取り巻く収益環境は一段と厳しいものとなっております。

このような環境におきまして、当社グループは、「なによりも患者さんのために」の企業理念のもと、2021年3月期を最終年度とする3ヶ年の新たな中期経営計画「M1 TRUST 2021（以下「中計」という。）」を策定し、2018年5月に発表しました。中計では「国内GE市場での圧倒的地位の確立とUpsher-Smith Laboratories, LLC（以下「USL」という。）の成長加速による世界をリードするジェネリック医薬品企業への変革」という中長期ビジョンの達成に向け、この3年間を「戦略的提携も視野に入れた業界内ネットワークの構築」の時期と位置付け、「業界構造の変化に対応できる体制構築とコスト競争力強化」を重点課題に設定しました。

生産・供給体制面においては、全国7つの工場それぞれの特徴を活かした生産効率のアップと生産能力の拡大を継続的に行っております。また、老朽化が進んでいる大阪工場の包装工程を三田西工場へと移管し、2020年に閉鎖することでさらなる高効率・低コストを追求してまいります。2018年6月に発生した大阪府北部地震、7月に発生した西日本豪雨、9月に発生した台風、北海道胆振東部地震による影響は軽微でありましたものの、その他自然災害等の非常事態においても生産・出荷を継続できるよう、安定供給体制の一層の強化に努めております。

製品開発・販売面においては、2018年6月に『イルアミクス®配合錠』を含む7成分17品目の新製品を発売するとともに、アストラゼネカ社と製造販売承認承継契約を締結した『ゾーミッグ®錠・RM錠』の製造販売承認承継が完了し、12月に『ミルタザピン錠・OD錠』を含む6成分14品目を発売しました。

この結果、日本セグメントにおける売上収益は144,098百万円（前期比7.0%増）、セグメント利益は24,230百万円（前期比10.6%増）となりました。

② 米国

米国事業においては、成長戦略を加速するため、前期に買収し、子会社化したUSLを通じて米国市場への進出を果たしており、2018年1月にUSLの持分20%を譲渡した住友商事株式会社の米国子会社Sumitomo Corporation of Americasと共にUSLの新たな成長戦略実現に取り組んでおります。中計では中長期ビジョン達成に向け、この3年間で「USLを基盤としたグローバル企業化への加速」の期間と位置付け、当社とUSLとの双方の強みを活かした連携を重点課題に設定しました。

米国におけるジェネリック医薬品業界は、卸・薬局等の統合により3大購買グループのシェアが約90%を占めていること、米国食品医薬品局（FDA）による医薬品簡略承認申請（ANDA）承認件数が過去最高水準を記録したこと等により、ジェネリック医薬品価格の下落基調が続きました。

このような環境におきまして、製品開発面においては、パイプラインを約40成分へと拡大し、販売面においては、既存品目に加え、新製品として2018年5月に『ドキサゾシン錠』、7月に『ビガドロロン散』、8月に『ベキサロテンカプセル』、『ジフェノキシラート塩酸塩・アトロピン硫酸塩錠』、10月に『クロバザム錠・クロバザム内用懸濁液』、2019年3月に『フルオキセチン錠』を発売しました。

この結果、米国セグメントにおける売上収益は40,242百万円（前期比20.7%増）、セグメント利益は1,568百万円（前期比417.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は184,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ22,759百万円増加いたしました。これは主に、現金及び現金同等物の増加によるものであります。非流動資産は187,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,323百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の減価償却及び無形資産の償却並びに減損によるものであります。

この結果、資産合計は372,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,435百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は70,350百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,925百万円減少いたしました。これは主に、その他の金融負債に計上されていた条件付対価の支払いによるものであります。非流動負債は79,334百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,403百万円減少いたしました。これは主に、借入金の返済によるものであります。

この結果、負債合計は、149,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,328百万円減少いたしました。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は223,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ20,763百万円増加いたしました。これは主に、当期利益の計上、剰余金の配当及び為替レートの変動によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は53.4%（前連結会計年度末は50.6%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は57,067百万円となり、前連結会計年度末に比べて17,074百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期利益25,666百万円、減価償却費及び償却費16,280百万円、法人所得税等の支払額8,161百万円を主因として42,923百万円の収入（前期比14,451百万円の収入増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7,500百万円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出（条件付対価の支払い）5,546百万円、無形資産の取得による支出3,208百万円を主因として16,820百万円の支出（前期比111,080百万円の支出減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額5,691百万円、長期借入金の返済による支出4,718百万円を主因として9,513百万円の支出（前期は108,597百万円の収入）となりました。

(4) 今後の見通し

2020年3月期は、日本市場では10月に予定の消費税率の引き上げに伴う薬価改定により、販売単価の下落はあるものの、政府のジェネリック医薬品使用促進策の影響でジェネリック医薬品の販売数量は引き続き着実な伸長が予想されます。一方、米国市場におきましては、FDAによる審査期間の短縮化等に伴い、引き続き厳しい競争環境が続くことが予想されています。

このような経営環境にあって、当社は2018年度より始まる3カ年の中期経営計画「M1 TRUST 2021」の2年目を迎え、その中で定めた「国内GE市場での圧倒的地位の確立とUSLの成長加速による世界をリードするジェネリック医薬品企業への変革」という中長期ビジョンの下、当社グループ各社の製品開発、生産・信頼性保証、販売等の各部門の力を結集し、日本、米国の両市場において着実な成長を目指してまいります。

2020年3月期の通期業績につきましては、売上収益184,400百万円、コア営業利益32,000百万円、営業利益25,800百万円、税引前当期利益25,700百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益19,200百万円を見込んでおります。

通期の連結業績予想数値（2019年4月1日～2020年3月31日）

(単位：百万円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	税引前 当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的1株当 たり親会社の 所有者に帰属 する当期利益 (円)
次期予想	184,400	32,000	25,800	25,700	19,200	438.59

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を向上させることを目的として、前連結会計年度よりIFRSを適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結純損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結純損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上収益	168,068	184,341
売上原価	△98,628	△109,442
売上総利益	69,440	74,899
販売費及び一般管理費	△32,731	△32,380
研究開発費	△14,533	△16,671
その他の収益	328	269
その他の費用	△294	△319
営業利益	22,209	25,798
金融収益	160	421
金融費用	△2,118	△553
税引前当期利益	20,251	25,666
法人所得税	△6,140	△5,939
当期利益	14,111	19,727
当期利益の帰属		
親会社の所有者	14,017	19,376
非支配持分	94	351
合計	14,111	19,727
1株当たり当期利益(円)		
基本的1株当たり当期利益	360.49	442.62
希薄化後1株当たり当期利益	360.26	442.32

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期利益	14,111	19,727
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の変動	452	△26
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,233	4,900
その他の包括利益合計	△3,780	4,874
当期包括利益合計	10,331	24,601
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	11,580	23,302
非支配持分	△1,249	1,299
合計	10,331	24,601

(2) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	39,992	57,067
売上債権及びその他の債権	56,206	63,676
たな卸資産	65,217	63,449
その他の流動資産	733	716
流動資産合計	162,149	184,907
非流動資産		
有形固定資産	88,059	81,233
のれん	37,717	39,403
無形資産	58,918	55,134
その他の金融資産	6,560	6,939
その他の非流動資産	759	631
繰延税金資産	4,292	4,641
非流動資産合計	196,305	187,981
資産合計	358,453	372,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	39,909	43,434
社債及び借入金	4,718	4,802
未払法人所得税等	7,383	4,841
返金負債	6,678	8,071
その他の金融負債	5,754	530
その他の流動負債	7,833	8,672
流動負債合計	72,275	70,350
非流動負債		
社債及び借入金	79,787	75,004
その他の金融負債	2,855	2,523
その他の非流動負債	1,031	1,742
繰延税金負債	63	64
非流動負債合計	83,737	79,334
負債合計	156,012	149,684
資本		
資本金	41,170	41,184
資本剰余金	42,574	42,849
利益剰余金	99,657	113,342
自己株式	△1,385	△1,385
その他の資本の構成要素	△666	3,259
親会社の所有者に帰属する持分合計	181,350	199,250
非支配持分	21,091	23,954
資本合計	202,441	223,204
負債及び資本合計	358,453	372,889

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他 の資本 の構成 要素			
期首残高	27,171	27,803	90,434	△6,006	1,836	141,237	—	141,237
当期利益			14,017			14,017	94	14,111
その他の包括利益					△2,437	△2,437	△1,344	△3,780
当期包括利益計	—	—	14,017	—	△2,437	11,580	△1,249	10,331
新株の発行	13,999	13,999			△14	27,984		27,984
新株の発行に係る 直接発行費用		△81				△81		△81
自己株式の処分		120		4,622		4,742		4,742
配当			△4,793			△4,793		△4,793
支配の喪失を伴わない 子会社に対する 所有者持分の変動		732			△129	604	22,341	22,944
株式報酬取引					77	77		77
所有者との取引額合計	13,999	14,770	△4,793	4,622	△65	28,533	22,341	50,873
期末残高	41,170	42,574	99,657	△1,385	△666	181,350	21,091	202,441

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他 の資本 の構成 要素			
期首残高	41,170	42,574	99,657	△1,385	△666	181,350	21,091	202,441
当期利益			19,376			19,376	351	19,727
その他の包括利益					3,926	3,926	947	4,874
当期包括利益計	—	—	19,376	—	3,926	23,302	1,299	24,601
新株の発行	15	15			△30	0	1,098	1,098
自己株式の取得				△0		△0		△0
配当			△5,691			△5,691		△5,691
株式報酬取引					29	29		29
その他		261				261	465	726
所有者との取引額合計	15	276	△5,691	△0	△1	△5,401	1,564	△3,837
期末残高	41,184	42,849	113,342	△1,385	3,259	199,250	23,954	223,204

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	20,251	25,666
減価償却費及び償却費	14,239	16,280
減損損失	3,598	5,317
金融収益	△160	△322
金融費用	1,423	450
固定資産除売却損益	83	195
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,015	△6,839
たな卸資産の増減額 (△は増加)	5,200	2,176
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△3,509	4,513
返金負債の増減額 (△は減少)	488	1,193
その他の金融負債の増減額 (△は減少)	△6,293	△214
その他	74	2,803
小計	33,379	51,217
利息の受取額	38	186
配当金の受取額	109	126
利息の支払額	△842	△445
法人所得税等の支払額	△4,212	△8,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,472	42,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,319	△7,500
無形資産の取得による支出	△6,487	△3,208
連結範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出	△111,195	△5,546
その他	102	△566
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,900	△16,820
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△310	—
長期借入れによる収入	60,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,297	△4,718
新株の発行による収入	27,866	—
連結範囲の変更を伴わない 子会社株式の売却による収入	23,688	74
配当金の支払額	△4,793	△5,691
自己株式の売却による収入	4,742	—
その他	△299	822
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,597	△9,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	52	484
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,221	17,074
現金及び現金同等物の期首残高	30,771	39,992
現金及び現金同等物の期末残高	39,992	57,067

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) 連結財務諸表がIFRSに準拠している旨

当社グループの連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号。以下、「連結財務諸表規則」という。)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たすことから、連結財務諸表規則第93条の規定により、IFRSに準拠して作成しております。

(2) 測定の基礎

連結財務諸表は、重要な会計方針に記載している金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 表示通貨

当社グループの連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

(重要な会計方針)

当社グループが連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度において適用した重要な会計方針と同一であります。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法及び市場等の類似性を考慮し、医療用医薬品の製造及び販売を行う製薬事業を構成する「日本」及び「米国」を報告セグメントとしております。

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 純損益計算書 計上額
	日本	米国	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	134,720	33,347	168,068	—	168,068
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	134,720	33,347	168,068	—	168,068
セグメント利益	21,903	303	22,206	3	22,209
金融収益					160
金融費用					△2,118
税引前当期利益					20,251
その他の項目					
減価償却費及び償却費	9,981	4,258	14,239	—	14,239
減損損失	1,866	1,732	3,598	—	3,598

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結 純損益計算書 計上額
	日本	米国	合計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	144,098	40,242	184,341	—	184,341
セグメント間の 内部売上収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	144,098	40,242	184,341	—	184,341
セグメント利益	24,230	1,568	25,798	△1	25,798
金融収益					421
金融費用					△553
税引前当期利益					25,666
その他の項目					
減価償却費及び償却費	10,899	5,382	16,280	—	16,280
減損損失	2,445	2,873	5,317	—	5,317

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去が含まれております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
基本的1株当たり当期利益の算定上の基礎		
親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円)	14,017	19,376
親会社の普通株主に帰属しない当期利益(百万円)	—	—
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	14,017	19,376
期中平均普通株式数(千株)	38,883	43,775
希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎		
基本的1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	14,017	19,376
当期利益調整額(百万円)	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	14,017	19,376
期中平均普通株式数(千株)	38,883	43,775
新株予約権による普通株式増加数(千株)	24	29
希薄化効果調整後期中平均普通株式数(千株)	38,907	43,804
1株当たり当期利益(親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり当期利益(円)	360.49	442.62
希薄化後1株当たり当期利益(円)	360.26	442.32

希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当期利益の計算に含まれなかったストック・オプション等の潜在的普通株式は、2018年3月31日現在及び2019年3月31日現在において、それぞれ68千株及び80千株であります。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出は次のとおりであります。

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

株式の取得により新たに子会社となったUSLの支配取得時の資産及び負債の主な内訳並びに支払対価は次のとおりであります。

	(単位:百万円) 金額
流動資産	34,107
非流動資産	66,489
のれん	39,396
負債	△23,395
支払対価の合計	116,596
支払対価に含まれる条件付対価	△5,338
取得時に被取得企業が保有していた現金及び現金同等物	△63
取得のための支出	111,195

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

USLの取得に係る条件付対価の支払いであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。